

# 2025年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（前期）

|       |                                                                                                                                                                                                   |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 試験区分  | <input checked="" type="checkbox"/> 一般入試<br><input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試<br><input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）                                                              |
| 試験科目名 | 専門試験（ 日本史学 ）                                                                                                                                                                                      |
| 出題の意図 | <p>問題Ⅰは、近年盛んなジェンダー史・女性史などを意識した出題。自分の狭い専門領域だけでなく、こうした歴史学の潮流を広く認識することは、歴史研究において必須だと考えるからである。</p> <p>問題Ⅱでは、日本史の研究に必要な、史料の読解力と歴史上の基本的な知識とを問う出題を行なった。史料の正確な解釈によって歴史研究が成り立っていることを理解してもらうような出題を心掛けた。</p> |

2025年度  
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）  
（専門試験） 日本史学 全5枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 5枚、解答用紙 2枚を配付する。

【問題の構成】

- ① 全2問。問題Ⅰと問題Ⅱとから成る。
- ② 問題Ⅰは共通問題である。受験者は、全員、この問題に答えなさい。
- ③ 問題Ⅱは選択問題であり、**A**と**B**とから構成される。大学院入学後に古代・中世・近世を専攻する受験者は**A**を、近代・現代を専攻する受験者は**B**を選択し、問題に答えなさい。

【解答用紙の使用方法】

解答は、問題Ⅰと問題Ⅱとについて、それぞれ別々の解答用紙に記入すること。

問題Ⅰ

日本史における女性の地位と役割について、古代・中世・近世・近現代にわたって論述しなさい。

問題Ⅱ A 次の史料を読んで、下記の設問(問1～6)に答えなさい。なお、出題の都合上、史料は改めたり省略したりした箇所がある。

【史料】『通航一覽統輯』巻六十三

返復和蘭攝政大臣書翰

去歲七月、貴國使价船齎國王書翰、到我肥前長崎港、崎尹伊澤美濃守<sup>\*1</sup>受而達之江戶府、<sup>①</sup>我主親讀之、<sup>②</sup>貴國王以二百年來通商之故、適有察我國之利害、見忠告一事、其言極為懇款、且別見惠珍品若干種、我主良用感荷、理宜布報<sup>\*2</sup>、然今有不能然者、<sup>③</sup>我祖宗創業之際、海外諸邦通信貿易、固無一定、及後議定通信之國通商之國、通信限朝鮮琉球、通商限貴國與支那、外此則一切不許新為交通、貴國於我從來有通商無通信、信與商又各別也、今欲為之布報、則違碑<sup>\*3</sup>祖宗、故俾臣等達此意、公等稟之於貴國王、事似不恭、然祖法之嚴如之、所以不得已、請諒之、至見惠禮物亦在所可辭、而厚意所寓遐方送致倘<sup>\*4</sup>、并返納益涉不恭、因今領受、晋<sup>\*5</sup>土宜<sup>\*6</sup>數種以表報謝、具錄別幅、勿却幸甚、抑祖法一定關係不可不遵、後來往復幸見偏、或基不然雖至再三不能受、幸勿為訝、至於公等書翰亦準此不為報也、但貴國通商則遵舊約勿替、亦是<sup>つしむ</sup>慎<sup>\*7</sup>守<sup>④</sup>祖法耳、幸稟之於國王、<sup>⑤</sup>雖則<sup>\*8</sup>云爾至於國王忠告誠意、則我主亦深感銘不敢疎外也、因今俾臣等具陳、言不盡意、千萬諒察、不備、

國政府諸公閣下、

阿部伊勢守正弘印

日本國老中

牧野備前守忠雅印

青山下野守忠良印

戸田山城守忠溫印

弘化二乙巳年<sup>\*9</sup>六月朔日

(注) \*1 「崎尹伊澤美濃守」……長崎奉行伊沢政義。

\*2 「布報」……布達し報せる。

\*3 「碑」……いしぶみのように固い。

\*4 「倘」……もし。もしも。

\*5 「晋」……すすめる。進める。

\*6 「土宜」……その土地の作物。その土地でできるもの。ここでは献上品のこと。

\*7 「慎」……絶対に。

\*8 「雖則」……くだが。くではあるけれども。

\*9 「弘化二乙巳年」……西暦一八四五年。

- 問1 傍線部①「我主」とは、江戸幕府第十二代将軍である。(ア)それが誰か答えなさい。  
また、(イ)この【史料】以前に、「天保の改革」と呼ばれる幕政が行なわれたが、それを主導した老中首座は誰か、答えなさい。そして、(ウ)その改革のうち、おもに貢租収入を確保するために行なわれた施策を挙げなさい。
- 問2 傍線部②「貴国王」とは、【史料】に明示された表現によれば「和蘭」国の王である。ところが、宛所の□には、これと違った表現が入る。それは何か、漢字三文字で答えなさい。
- 問3 傍線部③「我祖宗、請諒之」を、(エ)旧仮名遣いで訓み下し、(オ)現代語訳を施しなさい。その際、「通信」「通商」の中身が分かるように訳すこと。
- 問4 傍線部④「祖法」とは何か。【史料】をよく読み、簡潔に説明しなさい。
- 問5 傍線部⑤「雖則、陳外也」を、(カ)旧仮名遣いで訓み下し、(キ)現代語訳を施しなさい。
- 問6 波線部「遙有察我國之利害、見忠告一事、其言極爲懇款」は、東アジアで起こったある戦争をきっかけに、幕府の頑なな外交方針を改めるよう勧めたことを意味する。その戦争とは何か。名前を挙げた上で、概略説明しなさい。

問題Ⅱ **B** 次の【史料】を読んで、設問(問一～七)に答えなさい。なお、出題の都合上、一部、原文の表記を改めたところがある。

【史料】「13 満蒙問題解決意見書」JACAR(アジア歴史資料センター)Ref.B02030145700  
帝国ノ対支外交政策関係一件 第二巻 (A.1.1.0.10\_002) (外務省外交史料館)

①曩ニ現②田中内閣ノ成立スルヤ、対支外交ノ刷新ヲ以テ特ニ重要ナル施政方針ノ中ニ置キ、次テ東方會議ヲ開キ、満蒙問題ヲ中心トスル対支政策ヲ攻究シ、其ノ所謂③積極政策ヲ標榜スルニ至リタルハ、是レ現内閣ガ、大命降下ノ際ニ賜ハリタル勅諭中特ニ外交問題ニ対シテ留意セヨトノ教旨ヲ奉戴セルモノタルハ勿論、田中首相平昔ノ抱負モ亦タ此ニ在リタルニ由ルハ吾人ノ信ジテ疑ハザル所ナリトス

(中略)

満蒙及西伯利ノ対策ガ我が帝国ニ於テ最モ重大緊切ノ問題タル④斯ノ如シ。惜ムラクハ⑤日露戦争以降之レニ対シ民心稍ヤ緊張ヲ欠キ当局亦タ姑息ノ傾ナキニ非ズ。⑥就中西伯利問題ノ如キハ世界ノ大戦中、⑦西伯利出兵ノ際ニ於テ宜シク之ヲ解決セザルベカラザリシニ逡巡其ノ機会ヲ逸シ、満蒙ニ至リテモ二十年来、僅ニ南滿及ヒ安奉両鉄道ノ経営ト関東租借地ヲ維持シタル以外、何等積極的国策ノ実行ヲ見ルニ至ラザリシコトヲ。勿論満蒙五鉄道ノ協約ナキニ非ズ。然レ其ノ実行ノ遅々タル最近僅ニ多少線路ノ敷設ニ着手セラレツ、アルニ過ギズ。又タ人口發展上⑧土地商租並ニ居住権、及ヒ鉱山開掘権ノ如キ所謂二十一箇条々約ノ締結セラレザルニアラズ。然レト之ニ関シテハ実行細則ノ協定全然其ノ成立ヲ見ル能ハザルノミナラズ、邦人ノ事業ハ何レモ支那官民ノ妨碍ヲ蒙リ、却ツテ之レアルガ為メニ日支両国ノ間ニ事端ノ頻発ヲ免レザルノ觀アルハ其實果シテ誰シニ歸セシメントスルヤ、今ヤ我が邦人ノ彼ノ地ニ居住スル者何レモ其ノ手足ヲ伸バスニ由ナク、⑨徒ニ滿鉄附屬地内ニ踞シ疲弊困憊年々寧ロ其ノ數ヲ減ジツ、アリ。鮮人ノ如キモ満蒙ニ在ル者百五十余万ト称セラル、モ彼等モ唯ダ支那人酷待ノ下ニ於テ僅ニ其ノ露命ヲ繋ギツ、アルニ過ギザルノミ。是レ畢竟我が大陸政策ノ方針。微弱未定ニシテ、動搖常ナク、歴代ノ当局ガ断乎⑩満蒙問題ヲ解決スルノ措置ニ出デザルニヨルモノニ非ズシテ何ゾヤ。

問一 傍線部①④⑥⑨の読みを、それぞれ平仮名で記しなさい。

問二 傍線部②に関連して、

(一) 田中内閣は中国で起きたある事件をきっかけに総辞職した。その事件は何か、答えなさい。

(二) 当該時期に調印された「不戦条約」について、その要点を簡潔に述べなさい。

問三 傍線部③に関して、

- (一) 「積極政策」について、その対極にある概念にも言及しつつ、説明しなさい。
- (二) 一九二七年に田中内閣が行った山東出兵の名目は何か、書きなさい。
- (三) 山東出兵で中国大陆に進出した日本軍は、蒋介石が率いる国民革命軍と衝突し、多くの死傷者を出した。その事件を何というか、書きなさい。また、その事件の事後処理が遅れた理由を二つ書きなさい。

問四 傍線部⑤に関連して、この戦争に勝利した後、日本が韓国に設立した国策会社は何か、書きなさい。

問五 傍線部⑦に関連して、

- (一) イギリス・フランス・アメリカ・日本などのシベリアへの出兵は、どのような性格の出来事か、簡潔に説明しなさい。
- (二) シベリア出兵前の一九一七年、レーニンは「平和についての布告」と呼ばれる提案を行った。その内容について、簡潔に説明しなさい。

問六 傍線部⑧について、簡潔に説明しなさい。

問七 傍線部⑩の「満蒙問題」を解決するとはどういうことか、説明しなさい。